

## 平成28年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成28年5月17日(火) 10:00~12:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 13名  
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、  
分館担当係長 7名
- 4 傍聴者 2名
- 5 配布資料 (1) 平成28年度公民館定期講座実施状況表・・・資料1  
(2) 平成28年度東京都公民館連絡協議会定期総会 議案書・・・資料2  
(3) 平成28年度東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料3  
(4) 平成28年度東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料4  
(5) 平成28年度小平市八館会総会資料・・・資料5  
(6) 平成28年度第1回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料6  
第38回全国公民館研究集会神奈川大会 兼 第57回関東甲信越静  
公民館研究大会 in さがみはら 開催要項
- 6 次第 (1) 館長報告  
(2) 平成28年度小平市立公民館事業計画及び平成28年度小平市公民  
館定期講座実施状況について  
(3) 平成28年度東京都公民館連絡協議会 定期総会・職員部会・委員  
部会報告について  
(4) その他

### 会議の概要

#### 1 館長報告

- (1) 中央公民館の耐震診断結果を踏まえた今後の対応予定について

耐震診断の結果、耐震補強工事が必要となったため、平成28年度は耐震補強工事の設計を行い、その設計に基づき平成29年度に工事を行う予定である。

(2) 「第2回なかまちテラスまつり」について

当日は、公民館と図書館の複合施設ならではの多様なイベントが開催され、子どもから大人まで大勢の参加があり、大盛況に終わった。なお、今週末は上宿公民館で、その翌週は花小金井南公民館でまつりを開催する。

(3) 結いカフェについて

中央公民館の仲間をつなぐ市民と職員の対話の場として、平成25年度から定期的で開催している。「結いカフェ」が、より魅力的でたくさんの市民の方に参加してもらえるよう、公民館運営審議会からも意見を聞きながら少しずつブラッシュアップしていきたいと思う。5月28日土曜日に本年度の第1回目を開催する。

(4) その他の報告事項について

「緑のカーテン」の設置を行う。中央公民館だけでなく、分館も、可能な施設には設置する予定である。また、5月1日から10月31日まで職員の軽装を実施している。

2 平成28年度小平市立公民館事業計画及び平成28年度小平市公民館定期講座実施状況について

事務局より資料1について説明した。事業計画の最終頁A3判の一覧表をさらに詳細にしたものが、定期講座実施状況表である。シニア講座、家庭教育などの区分について、中央公民館から大沼公民館まではその区分に基づいて講座を開催するが、鈴木公民館だけは事業企画委員会が企画しているため異なる。

(質疑応答)

**鈴木公民館に関して**

委員 鈴木公民館の絵手紙の募集は、どのようにして高齢者から小学生の参加につながったのか。また、異世代間連携講座のバランスボールはどのような部分が異世代間の連携になっているのか。

事務局 絵手紙講座は対象が小学1年生以上のため、小学校にチラシを配布した。参加者の中には祖母と孫と一緒に参加していたこともあった。小学生の応募が少なかつたため、応募してきた小学生については抽選なしで全員当選とした。異世代間講座のバランスボールは3回の連続講座だが、1回目の対象は赤ちゃん・子育て世代、2回目の対象は50歳以上のシニア世代、3回目に両方の世代の方が一緒に楽しめることを目的としている。

委員 どういう区分で3つ（サークル活動地域還元型講座・異世代間地域連携講座・地域社会資源連携講座）に分かれているのか。

事務局 鈴木公民館は、公民館のあり方検討に関する報告書 12 ページの企画する項目の例示を参考に 3 つの区分を設定した。サークル活動地域還元講座は、例示②のサークル活動による学習成果を地域に還元するものとして、また、異世代間地域連携講座は、例示③の乳幼児から高齢者まで多様な住民が関わる異世代間交流など、地域づくりにつながる活動、及び⑤の幅広い地域住民が気軽に集まり、地域情報が集まる総合的な地域づくりの拠点としての役割を実現するものとして、最後に地域社会資源連携講座は、①の生活課題・地域課題に取り組む人材の育成・発掘を推進する講座、及び⑥の地域社会資源との連携を推進するものとして設定した。

委員 マンスリーコンサートは規模が小さいが、小さいからこそできる工夫があるのか。また、来場者との合唱は、意図的に参加型のコンサートとして企画したのか。

事務局 鈴木公民館のロビーを使って何かできないかというところからはじまった。来場者との合唱については、出演者との交渉の中で出た案で、今後も続けていきたい。

委員 マンスリーコンサートには公民館に初めて来た方もいたと思うが、障がいを持っている方の参加についてはどうか。

事務局 初めて来た方もいる。また、障がいを持っている方の参加はなかったが、受入れできる体制は整えている。

委員 コンサート終了後、みんなで語り合うとか、コーディネーターが誘うなど、交流をしていければいいのではないか。

事務局 まさしく、それを理想としているところで、「地域に出張カフェするサークルづくり」の講座でその役割を目指している。

委員 アーティストフォーラムについて、「はじめてのデッサン」という講座があるが 1 回の開催では学習内容として物足りないと思うが。

事務局 アーティストフォーラムは、地域にいるアーティストを発掘してそのような人が地域にいることを知ってもらうことを目的としている。また、その文化や芸術に触れるきっかけづくりとして、ワークショップ形式で子どもから大人までを対象に行う予定である。

委員 小平市の公民館の講座は1コース10回程度で実施されているが、事業企画委員会のモデル館設置にあたって、回数を減らしてコースを増やすことも検討していた。回数を長くして学びを深めること、回数を短くして参加のハードルを下げて利用者を増やすことを実験的に行っている。

事務局 期間の欄で、土曜日・日曜日の開催が多いと思うが、平日に比べて比較的空き部屋が多いのと、委員ご指摘のとおりこれまで公民館の講座に参加できなかった方をいかに公民館に呼び込むかを1つの目的としている。

#### 仲町公民館に関して

委員 仲町公民館のLINKS講座が8月と3月に予定されているのは、学校と関連しているのか。

事務局 27年度が、十四小・学園東小・二小と連携したので、28年度も同様のものを考えている。

委員 他館と比べて、なかまちテラスまつりの3千人は多過ぎではないか。

事務局 ゲート通過者数で算出しているので、ダブルカウントはあるが、昨年と同じ方法で算出している。

委員 他の分館との差が激しいので、整合性をつけてもらいたい。

館長 より正確な数字が求められると思うが、今後の数字の算出方法については改めて検討して報告する。

委員 旧仲町公民館まつりとなかまちテラスまつりの違いは何か。図書館と公民館の一体化の施設となっているのに図書館の関わりが薄い気がする。展示サークルが減っていることもあり、まつりの期間は図書館を一時閉鎖して展示スペースとして施設を提供してもらうことは考えられないか。また、公民館と図書館の一体化についてどう考えているのか。

事務局 まつりの中では、図書館の2階の児童コーナーで短歌を作ったり、2階の1コーナーで公民館利用サークル「ともしび」が紙芝居をした。地下のおはなし室では、お話し会をした。

「なかまちテラスまつり」はもともと「仲町公民館まつり」から発展したもので、どうしても公民館中心という傾向が強い。今後は、図書館とより一体感を持ちながら事業を進めていく。

委員 なかまちテラスまつりは、地域と学校が関わっている様子が見えてとても良かったと思った。公民館まつりの中で図書館との連携を意識した短歌や百人一首も良かったと思った。

委員 「なかまちテラス」は公民館と図書館の一体の施設なので、公民館と図書館と一緒にやるほうが良いと思う。図書館と講座室が同じフロアなので、講座室での工作教室で声を出すことに気を遣った。(他の併設館と違って「一体となっている」ことを宣伝しているの、) おまつりの時くらいは勉強する場所を他の場所に移すこともテラスの中の図書館で考えてもらってはどうか。

委員 図書館ならではの、公民館ならではの良さや特徴を踏まえ、双方で情報を共有し、どこまで、一体となることができるのかをじっくりと考えて欲しい。

委員 図書館の機能と公民館の機能をコラボレーションするという意味では、他館にないイベントができるのではないかと考えている。若い人がいっぱい来場していたのは、他館と違って良かったと思った。

委員 旧仲町公民館まつりとなかまちテラスまつりの変化について伺いたい。

事務局 子どもの利用が多くなったことは、学校コーディネーターの力が大きいと思う。また、なかまちテラスLINKSにより、地域や学校を巻き込んだ活動ができるようになったことが、大きな変化である。

#### 上水南公民館に関して

委員 上水南公民館の避難所運営ゲームは自治会に直接交渉しているのか。

事務局 まだ交渉はしていないが、自治会の協力を得て、極力自治会の方の参加を考えている。詳細は決まっていないが、定員は30人程度を考えている。

委員 このような地域連携の講座は必要だと思うので、他館にも広げてほしい。

事務局 いくつか段階を踏んでからということになると思う。

#### 小川公民館に関して

委 員 小川公民館のヒップホップダンスについて、小学生が午前中で中学生は夜間開催予定とのことだが問題はないか。

事 務 局 夏休み学習室では、愛のチャイムまでとしているので、今後検討する。

#### 中央公民館に関して

委 員 パソコン講座について、具体的な内容について教えてもらいたい。

事 務 局 「ゼロから学ぶ」は全く初心者向けのもの、「パワーポイント」は発表用資料の作成などの講座である。

委 員 中央公民館のシルバー大学の資料に掲載されていない内容は何か。また、ふるさと講座の定員を超えた分については、どうなるのか。

事 務 局 ふるさと講座の定員を超えた 23 名については 20 名限定のため落選となった。シルバー大学については、合計 24 回の講座であり、たとえば高齢者の食生活が 2 回、その他は小平の歴史を知る・健康をテーマにしたもの・グリーンロードやエンディングノートについてなどである。

委 員 私がシルバー大学を受講した時は 60 人の定員だった。最近では 30 名定員で受講者がなかなか集まらなると聞いたが、何か理由があるのか。

事 務 局 ここ数年、地域で社会貢献活動をするをメインにした講座を開催してきたが、今年度から受講者の意向を取り入れて、以前のように仲間づくりや教養を得る内容を多く取り入れている。

委 員 これまでは、少しテーマが難しすぎたと思う。やはり、以前のように歴史や教養などを少しずつ取り入れて、社会との繋がりが得られるようなテーマで実施した方がいいと思う。

委 員 人気のある講座だけを開催するのではなく、受講者が少なくても、公民館ならではの講座を開催する必要があると思う。どちらも大事だと思うので、バランス良く実施していただきたい。

- 3 平成28年度東京都公民館連絡協議会 定期総会・職員部会・委員部会報告について  
事務局及び委員より資料2・3・4について説明した。
  
- 4 その他
  - ・小平市公民館八館会について  
事務局より、資料5について説明した。また、一館加わり九館会となる旨報告があった。
  - ・第38回全国公民館研究集会神奈川大会 兼 第57回関東甲信越静公民館研究大会  
in さがみはら 開催要項について説明した。
  - ・講座のための意見交換会の日程について説明した。

次回は、7月19日（火）午前10時より、中央公民館会議室にて開催する。